



別寒辺牛

2016年3月発行
NO.31

オオハクチョウの越冬数過去最高タイ記録！

以前は2,000～3,000羽が越冬していたのですが、5年ほど1,000羽前後の越冬数と激減していました。しかし10月から行っている今季のオオハクチョウ調査では約2,600羽と平成20年以來の越冬数がしばらく続き、1月18日の大雪の後も約1,900羽に減ったものの、多めの状態が1ヶ月以上続いています。

直接的な要因は、厚岸湖で凍らない場所が例年より大きく、オオハクチョウの餌であるアマモが採食しやすい状況だったことですが、海水温や湖の氷の面積がオオハクチョウの数に常に反映しているとは言い切れません。オオハクチョウの年変動は、短期的な道東周辺単独の気候よりも、渡りルート（北半球）全体の中長期的な気候の影響が大きいと考えられます。

ちなみに越冬数は増えたのですが、渡りの時期に飛来したオオハクチョウの数は、以前の三分の一程度で、今季に限れば越冬数と飛来数はそれほど変わりません。どうしてオオハクチョウの飛来した数と越冬する数が比例しないのか、これもオオハクチョウに関わる謎の一つです。

今年度も大型鳥類の事故がありました

毎年この話題は出てくるのですが、昨年4月から2月中旬までに8羽のタンチョウと3羽の海ワシが列車や自動車にひかれて死傷しました。

○ タンチョウ

つがいの行動を変化させたことによる事故のほか、今年度の厚岸町でのタンチョウ営巣数は約70巣にもなっており、生息数の増加によるものが考えられます。数が増えた分、事故が起こるリスクも増え、またタンチョウ同

士の縄張り争いも激化しています。その争いの最中に事故にあう、という例もあります。

タンチョウの生息できる湿原は無限にあるわけではありません。現在では、既に過密状態になっており、今後のタンチョウ生息数をどうするべきか考えさせられるところです。

○ オオワシ・オジロワシ

厚岸町内で事故に遭った海ワシ(オオワシ・オジロワシ)は今年度はすべてオオワシでした。海ワシの事故については、全道的に見ると列車事故で死亡したエゾシカを食べている海ワシが、列車警笛等に気づかず逃げ遅れ、ひかれて死亡する例が後を絶ちません。しかしなぜこのように増加するようになったのでしょうか？

原因として海ワシが人間社会と接することに慣れてしまったことが否定できません。

不必要に野生生物と人間が接触することは、鳥の事故以外にも、野生生物特有の感染症問題や、ヒグマなど人間の生命に関わる事故の危険など、お互いに良いことではありません。

たとえば、餌をまいて大型鳥類を人に近づけ写真を撮るといった行為は絶対に止めてください。



負傷したヒナ回収時に私たちに威嚇するタンチョウつがい

平成27年度やちっこクラブ活動報告

平成21年度から、町内の子供たちを対象とする自然体験クラブとしてスタートした「やちっこクラブ」です。今年度は22人のキッズレンジャーが、サポーター8人、協力員3人の協力の元に、月に1回のペースで、厚岸の自然について楽しみながら学習してきました。今年度も、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター水圏ステーション厚岸臨海実験所の協力を得て、厚岸の環境とは切っても切れない「海」の体験学習を行ったり、厚岸町内で調査研究を行っている琉球大学研究員の方による特別教室の実施、そして海事記念館との共催による事業など、一部悪天候による中止もありましたが、一年を通じ充実した活動になりました。今年度の活動内容は以下のとおりです。

- 5月 ● やちっこクラブ開級式
- 6月 ● 花の観察会（あやめヶ原）
 - 特別教室『寄生生物フクロムシのくらしとその研究史』
- 7月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り（悪天候により中止）
- 9月 ● 別寒辺牛川のカヌー下り（海事記念館共催の回あり。悪天候により一部中止）
- 10月 ● 厚岸臨海実験所の実習船「うみあいさ」に乗船し、アイニンカップにある世界有数のオオアマモ場の生物を採集、観察
 - 星空観察会（海事記念館共催）
- 12月 ● 渡り真っ最中のオオハクチョウ観察
- 1月 ● 厚岸湖の水鳥調査
- 2月 ● 全道一斉海ワシ類調査（悪天候により中止）

平成28年度も、子供たちが厚岸町の自然を楽しめるプログラムを企画中です。会員の募集については、4月に各小中学校を通じて、小学校4年生から中学校3年生までを対象に募集案内しますが、ご興味のある方は水鳥観察館までお問い合わせください。



満開のヒオウギアヤメ



別寒辺牛川で川下り

ラムサール条約登録湿地 厚岸湖・別寒辺牛湿原 厚岸水鳥観察館だより

あっけし みずどり かんさつ かん
厚岸水鳥観察館

☎088-1140
北海道厚岸郡厚岸町サンヌシ6番地
TEL&FAX (0153) 52-5988
E-mail: bekan@tiara.ocn.ne.jp
URL: <http://www.akkeshi-bekanbeushi.com/>